

# 旅行詐欺に

# 注意して下さい

## 犯罪手口のパターン

SNS、ショッピングサイトや掲示板を利用した旅行商品の転売

大手旅行代理店などの旅行代金と比較して安価であると宣伝

SNSを利用した予約申込手続き

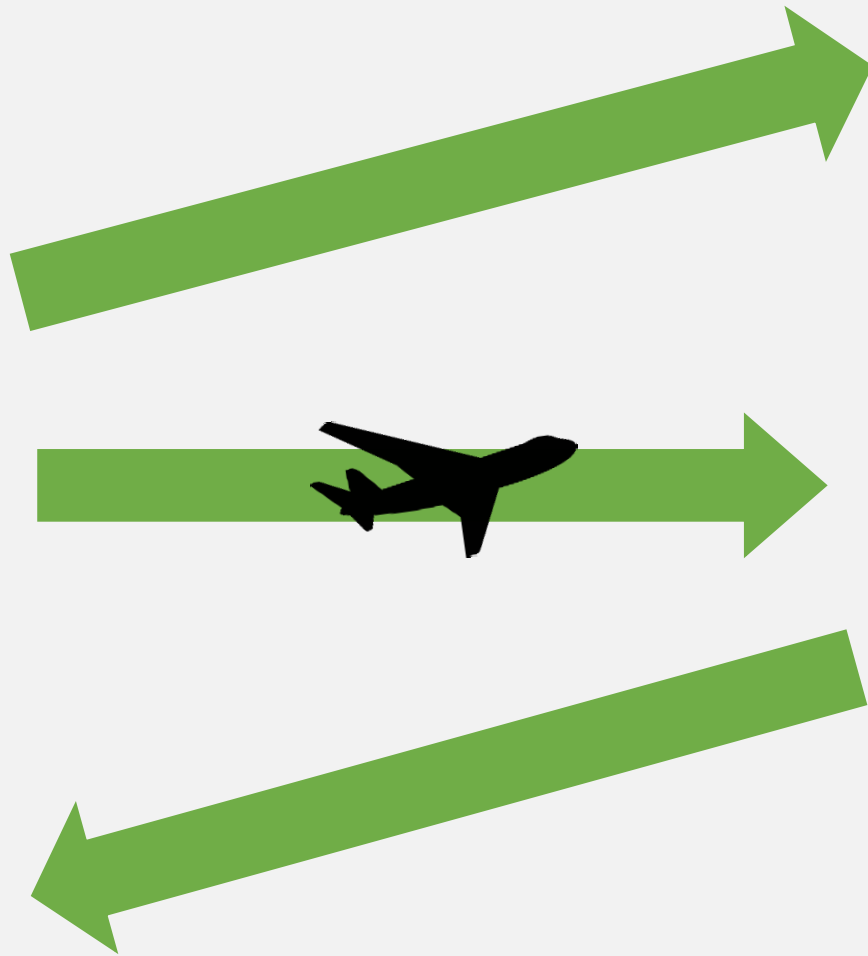
高級ホテルが極端に安価であると宣伝

各旅行者だけにカスタマイズした旅行プランのアレンジ



詐欺の可能性が  
あります！

安価につられ正規旅行事業者を利用せずに旅行申込をすると...



楽しい旅行のはずが...

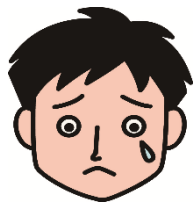


トラブルに巻き込まれることとなります！！

## トラブルの事例

### 【宿泊できない事例】

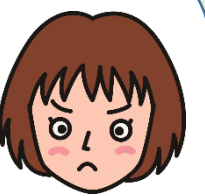
不正に宿泊予約がされていた場合、チェックインしようとしても宿泊できない場合があります。その場合、宿泊施設はあなたのために代替りの宿泊施設を用意はしてくれません。



・旅行を申し込む時は、サービス事業者が、国から旅行事業の許可を受けた正規旅行事業者であることを確認し、安価につられて安易に旅行の申し込みをしないようにして下さい。

### 【宿泊代金の二重払いの事例】

犯罪者は、不正に入手した他人のクレジットカード情報を利用して、宿泊予約をしています。申込時に宿泊代金を支払っていても、支払いが完了しておらず、現地宿泊施設において宿泊代金を請求される場合があります。



・宿泊施設の指示に従い、無用なトラブルは起こさないようにしましょう。  
・代金を騙しとられたことがわかった場合は、帰国後、速やかに自国の捜査機関に被害の申し出をして下さい。

### 【警察の取調べ等を受ける事例】

不正宿泊予約に関与した可能性があるとして、警察から事情聴取や取調べを受ける可能性があります。その場合、せっかくの観光旅行が台無しになってしまいます。



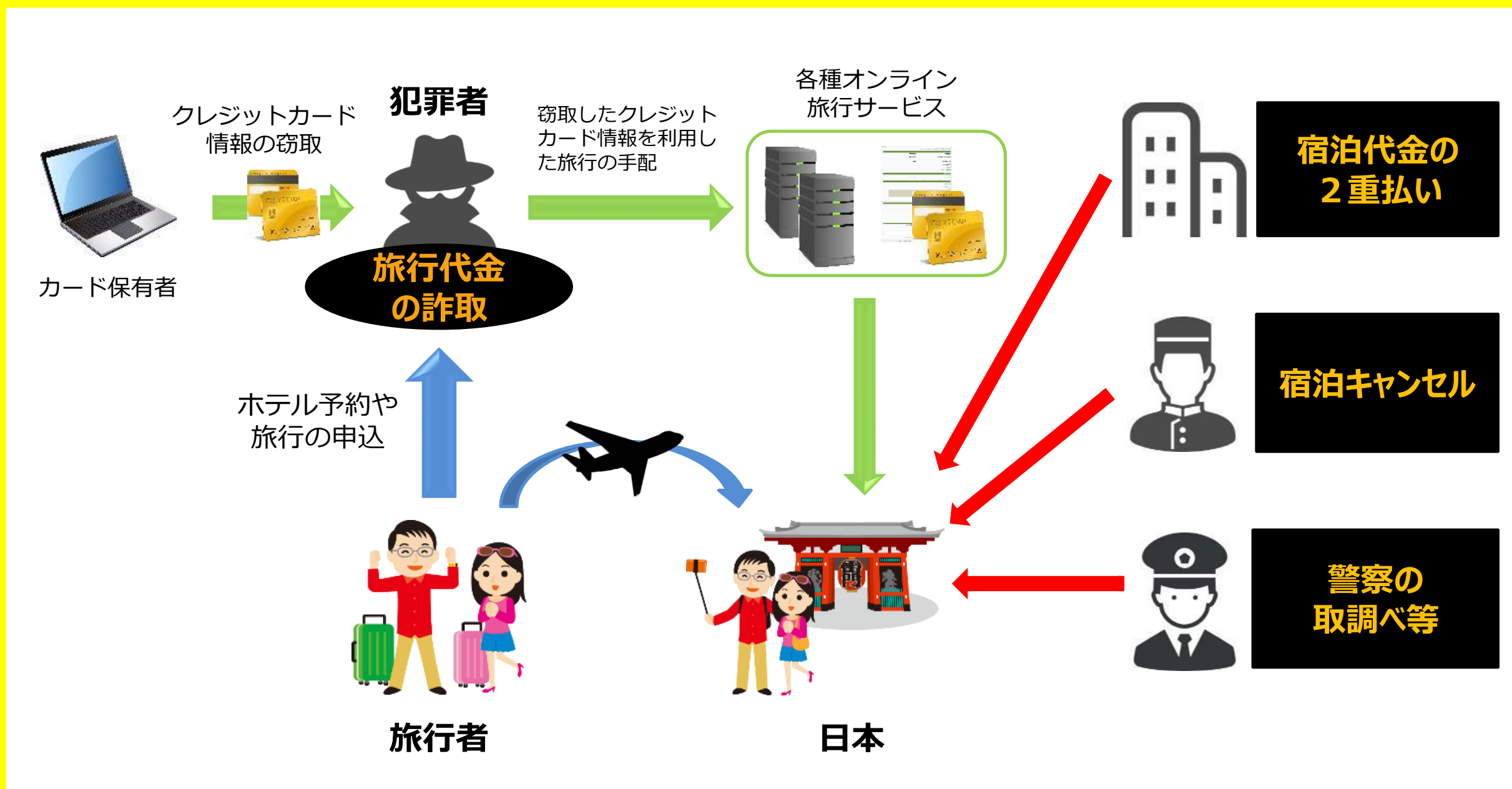
・警察からの事情聴取または取り調べには長時間を要する場合があります。  
・当初予定していたスケジュールで旅行が続けられなくなります。

～詐欺被害・旅行先でのトラブルに遭わないために～

必ず**法律に基づき許可を受け**

**た旅行事業者**を利用しましょう！

# 旅行詐欺の手口



- ①犯罪者は、ショッピングサイトやSNSで、「旅行商品を安く提供する」などと書き込み、旅行者を勧誘してきます。
- ②旅行者が、犯罪者に騙されて旅行を申し込むと、犯罪者は不正に取得した他人のクレジットカード情報を利用して、オンライン旅行サービスで旅行を申し込みます。
- ③不正な予約が発覚すると、旅行者は旅行先で、宿泊代金を再度請求される、宿泊がキャンセルされる、警察の取調べを受ける等、トラブルに巻き込まれることとなります。
- ④旅行者にトラブルが発生しても、犯罪者は助けてはくれません。  
また、旅行者が犯罪者に支払った旅行代金は返ってきません。